

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

化学品の名称 : Rapid Cleaner
製品タイプ : スプレー
製品コード : 20880 - 500 mL

推奨用途及び使用制限

推奨用途 : クリーナー

会社情報

LIQUI MOLY GmbH
D-89081 Ulm-Lehr
Jerg-Wieland-Str. 4
T (+49) 0731-1420-0 - F (+49) 0731-1420-88
SDS の責任資格者の電子メールアドレス: sds@gbk-ingelheim.de

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +49 (0) 6132 / 84463 (GBK GmbH, Ingelheim)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性 : エアゾール 区分 1
健康有害性 : 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3(麻酔作用)
吸引性呼吸器有害性 区分 1
環境有害性 : 水生環境有害性(長期間) 区分 2

絵表示 (GHS-JP)



GHS02



GHS07



GHS08



GHS09

注意喚起語 (GHS-JP) : 危険

含有 : ナフサ (石油)

危険有害性情報 (GHS-JP) : 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール (H222)
高压容器: 熱すると破裂のおそれ (H229)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)
皮膚刺激 (H315)
眠気又はめまいのおそれ (H336)
長期継続的影響によって水生生物に毒性 (H411)

注意書き : 子供の手の届かないところに置くこと。 (P102)

安全対策 : 熱、熱表面、裸火、火花 から遠ざけること。 - 禁煙。 (P210)
裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。 (P211)
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。 (P251)
蒸気、スプレー、ミスト の吸入を避けること。 (P261)
環境への放出を避けること。 (P273)
適切な保護手袋 を着用すること。 (P280)

- 応急処置 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
- 保管 : 施錠して保管すること。(P405)
日光から遮断し、50℃を超える温度にばく露しないこと。(P410+P412)
- 廃棄 : 内容物／容器を 特殊廃棄物処理 収集所 に廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

製品情報 : 混合物

名前	濃度	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ナフサ (石油)	>= 50%				64742-49-0
二酸化炭素	1 - 10%	CO2	(1)-169		124-38-9

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : 直ちに医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはいけない。
直ちに医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 : 眠気又はめまいのおそれ。
- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 刺激性。
- 症状/損傷 飲み込んだ場合 : 肺水腫のリスク。

その他の医学的アドバイスまたは治療

- 医師に対する特別注意事項 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適した消火剤 : 乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 水
- 特有の危険有害性 : 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。
- 爆発の危険 : 高压容器 : 熱すると破裂のおそれ。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 炭素酸化物(CO、CO2)、
有毒熱分解製品。
- 消火方法 : 汚染した消火水は分離回収し、排水溝に流出させない。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

非緊急対応者

- 応急処置
- : 漏出エリアを換気する。
 - 裸火、火花禁止、禁煙。
 - スプレー、蒸気 の吸入を避けること。
 - 皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

- 保護具
- : 適切な保護具を着用して作業する。
 - 詳細については、第8項の「暴露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項
- : 環境への放出を避けること。
 - 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

封じ込め及び浄化方法及び機材

- 封じ込め方法
- : 漏出物を回収すること。
- 浄化方法
- : 製品は機械的に回収する。
- その他の情報
- : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

- 安全取扱注意事項
- : 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
 - 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
 - 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
 - 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 - 蒸気、ミスト、スプレー の吸入を避けること。
 - 皮膚、眼との接触を避ける。
 - 個人用保護具を着用する。

衛生対策

- : 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件
- : 日光から遮断すること。
 - 50℃以上の温度にばく露しないこと。
 - 施錠して保管すること。
 - 換気の良い場所で保管すること。
 - 容器を密閉しておくこと。
 - 涼しいところに置くこと。

8. ばく露防止及び保護措置

二酸化炭素 (124-38-9)			
日本	許容濃度(産衛学会)	5000ppm(9000mg/m3)	
日本	許容濃度(ACGIH)	TWA 5000 ppm, STEL 30,000 ppm	

- 設備対策
- : 作業所の十分な換気を確保する。
- 手の保護具
- : 保護用手袋。製造業者が指定する浸透性と浸透時間を遵守する。手袋素材は破過時間、透過速度、劣化等を考慮して選択する。

Rapid Cleaner

バージョン: 1.1 MSDS 番号: 10693-0001

タイプ	素材	透過トウカ	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋。	ニトリルゴム。	6 (> 480 分)。	0, 38		EN 374。

眼の保護具 : 防護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。防塵服。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
ハーフマスク。	A2。P2。	空気中の濃度>暴露限界の場合。	EN 14387。

環境への暴露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態 : 液体

外観 : エアゾール

色 : 無色

臭い : 特有の臭気

融点 : 非該当

燃焼性 (固体、気体) : 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール

0.707 g/ml (DIN 51757) : 0.707 g/ml (DIN 51757)

溶解度 : 水に溶けない。

爆発特性 : 物質は爆発性ではない。引火性/爆発性蒸気-空気混合物を形成することがある。高压容器: 熱すると破裂のおそれ。

爆発限界 下限 (LEL) : 1 vol %

爆発限界 上限 (UEL) : 6.5 vol %

VOC 含有量 : 96 % 有機溶剤

10. 安定性及び反応性

反応性 : 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。
高压容器: 熱すると破裂のおそれ。

化学的安定性 : 通常の条件下では安定。

危険有害反応可能性 : 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。

避けるべき条件 : 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。

危険有害な分解生成物 : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : 区分外。

急性毒性 (経皮) : 区分外。

急性毒性 (吸入) : 区分外。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分外。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 区分外。

生殖細胞変異原性 : 区分外。

発がん性 : 区分外。

生殖毒性 : 区分外。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 眠気又はめまいのおそれ。

Rapid Cleaner

バージョン: 1.1 MSDS 番号: 10693-0001

- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分外。
 吸引性呼吸器有害性 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

Rapid Cleaner	
噴霧器	エアゾール

12. 環境影響情報

- 生態系 - 全般 : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。
 水生環境(急性) : 区分外。
 水生環境慢性 : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

Rapid Cleaner	
残留性・分解性	追加情報なし

Rapid Cleaner	
生体蓄積性	追加情報なし

Rapid Cleaner	
土壌中の移動性	追加情報なし

- オゾン層への有害性 : 区分外。
 その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

- 推奨製品/梱包処分 : 圧力容器。使用後も穴をあけたり焼却しない。
 国、地域の規制に準拠して廃棄する。
 廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を破棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

道路輸送(ADR)	道路輸送(UN RTDG)	海上輸送	航空輸送	内陸水路輸送	鉄道輸送
国連番号					
1950	1950	1950	1950	1950	1950
国連正式品名					
エアゾール	AEROSOLS	AEROSOLS	Aerosols, flammable	エアゾール	エアゾール
輸送危険物分類					
2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
容器等級					
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当

Rapid Cleaner

バージョン: 1.1 MSDS 番号: 10693-0001

環境有害性					
環境有害性 : はい	環境有害性 : はい	環境有害性 : はい 海洋汚染物質 : はい	環境有害性 : はい	環境有害性 : はい	環境有害性 : はい

海洋汚染物質 : はい
緊急時応急措置指針番号 : 126

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
その他の情報 : 規制されていない。

15. 適用法令

船舶安全法 : 高圧ガス・引火性高圧ガス（危規則第2，3条危険物告示別表第1）
航空法 : 高圧ガス・引火性高圧ガス（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法 : その他の危険物・高圧ガス（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）

16. その他の情報

その他の情報 : 記述内容は製品の安全要求だけに限定し、現時点での知見に基づいている。4～8項および10～12項の記述は一部、製品の使用および指定通りの適用に関するものではなく（製品説明書・使用説明書を参照）、事故や異常事態で大量放出が発生した場合に該当する。データシートに記述された特性内容は法律上の保証規定を保証するものではない。